

令和1(2019)年度の出来事から

公文書室長 広瀬茂久

5月に「平成」から「令和」へと元号が変わった。新時代を象徴する2文字の出典、意味、及び新元号に込められた願いなどに関する解説を通して、古典のみならず、私たちの営みを記した新しい文書類も次の世代に残したいと思われた方も多いだろう。このような願いとはうらはらに、公文書の意図的な廃棄を疑わせる事件が後を絶たない。規律に歪みが生じているのでは？と心配になる。台風に代表される自然災害もその脅威を増し、新型コロナウイルス感染症にいたっては、人命のみならず、対策本部会議を欠席した国会議員の政治生命までも脅かすほどの猛威を振るっている。令和天皇の願い「国民の幸せと世界平和」を実現するのは容易でなさそうだ。令和を“規律に歪みが蓄積した時代”と形容されては、令和を生き残った私たちは浮かばれない…。大言壮語はこれぐらいにし、足元に目をやって、2019年度を振り返ってみたい。

1. ミニ展示「社会人教育のルーツをたどる」

同窓生が母校のキャンパスに集う「ホームカミングデー」(5/25,土)を挟むように5/16(木)～6/13(木)の期間、百年記念館1階でミニ展示「社会人教育のルーツをたどる」を開催しました。120年前の明治32年(1899)に、本学の前身である東京職工学校に夜間の工業補習学校が附設されました。日本の発展のためには技術者を育成して社会に送り出すとともに、既に現場で働いている工員の力量向上も図る必要があったからです。官立初の夜間学校として附設された工業補習学校の精神は、その後の専攻科及び現在の社会人アカデミーに受け継がれているのみならず、他の教育機関の夜間部や社会人教育・リカレント教育のルーツとなっています。夕闇の田町キャンパスで研鑽を積み、日本を支えた人たち、あるいは現在の世界を支えつつある人たちに感謝の意を込めて、展示会では年表入りの紹介冊子を配布しました。

展示会は好評でしたので、秋の「感謝の集い」(10/30,水)に合わせて2週間(10/28～11/12)、少し衣装替えをした形で再度展示しました。「感謝の集い」は、本学の創立130周年記念事業の一つとして創設された「東工大基金」が、寄附者などを招いて年1回開催しているものです。私たちのミニ展示は、「東工大基金」の募金活動の援護にもなったようです。今後も卒業生に対するサービスにも注力していきたいと思っております。



① ミニ展示「社会人教育のルーツをたどる」
(百年記念館1F, 2019.5.16～6.13)

2. 傍系入学の新資料と歴史的視点からの
新呼称「産業士官学校」

思わぬところから古い段ボール箱が数個出てきました。中身は明治後期から昭和初期にかけての入学願書綴りや各種試験成績表など、今風に言えば個人情報の塊で、驚きでした。もう一つ驚きだったのは、関東大地震(1923年〔大正12〕)に伴う火災旋風で古い書類は灰燼に帰したと言われ、実際、関東大震災以前の文書類は、個人保存以外、見つかっていなかったからです。今回見つかった書類は昭和27年度*以前のもので、原則に従って「特定歴史公文書等」として公文書室に収蔵しました。もう失われる心配はないのですが、それらがいかんにして火災旋風を免れ、今日まで生き延びたのか？という謎も後世に引き継がれることになるかもしれません。*サンフランシスコ条約の発効によって日本が主権を獲得。

私たちにとっては“驚きの塊”以外の何物でもなかったのですが、教育史の研究者—特に傍系入学・傍系進学の実証者—にとってはめったに出会えない“掘り出し物”だったようです。傍系入学・傍系進学というと難しそうに聞こえますが、帝国憲法期における高等教育、すなわち旧制高校から帝國大学へというエリートコースに風穴を開けた隠れた進学ルートでした。家庭の事情等で旧制高校への進学の道をいったん外れると、いかに優秀で向学心に燃えていても高等教育を受けることは出来ませんでした。それを可能にしたのが傍系入学・傍系進学です。本学の関わりでは、一旦、工業学校等に進んだ若者がどのような経路をた



② 閲覧室で傍系入学・傍系進学調査にあたる田村さん（右）。

どって官立の高等工業学校（本学の前身が最初の例）への入学を果たし、卒業後に帝国大学（最初に門戸を開いたのは東北帝大）に進学したかを、今回発見された当時の入学願書や卒業後の進路を記した書類を見れば、明らかにできることになります。この分析作業に取り組んでおられるのが田村幸男さんで、「帝国憲法期の入学と就職」——官立高等工業学校 16,718 人の内・外地での移動——という著書があります（本学の図書館にあり）。東工大の前身である東京高等工業学校がリーダー役を果たした「高等工業学校」群（全国で 25 校）に『産業士官学校』という呼称を提唱し、それらの歴史的・社会的役割を分かり易く解説しておられますので、資料館の『今月の一枚』でも紹介しています：<https://www.facebook.com/tokyotechmuseum/photos/pb.580173422029538-2207520000-2837291549651036/?type=3&theater>

もう一人常連客（heavy user）がいます。それは田坪賢人さん（大阪市立大学大学院文学研究科 M2、2020 年 4 月から D1）で日本史学が専攻です。田坪さんは「畿内近江六ヶ国の建築関係職人を支配した中井家に関する研究」の一環として、大坂の大工組に即して、都市社会の中での地域の工組の実態とそこにおける中井家による支配の意義について調べています。その手掛かりになるのが、私共が所蔵する大工古橋家文書というわけです。博士後期課程への進学が決まっており、今後もしばらく継続予定とのことです。

3. 目黒区連携講座

「東工大博物館のアーカイブズを覗いてみよう」

目黒区教育委員会と連携して 8 月 31 日に、「東工大博物館のアーカイブズを覗いてみよう！」と題するバックステージ見学ツアーを開催しました。44 名の応募者の中から抽選で選ばれた 20 名の目黒区在住の方々を対象に、本講座では、本館の旧図書室を改修して作られた資料館と公文書室を見学してもらうとともに、文書類の収集から公開までの流れを実際の作業等を実演しながら理解してもらいました。

ツアー後半は、場所を会議室に移して、資料館や公文書室が所蔵する古い文書や図面類の中から入試問題、大岡山キャンパスの変遷を示す地図類、出陣学徒壮行会関連資料、明治 41 年〔1908 年〕機械科卒のノート類の机上展示を見学してもらうとともに、大岡山キャンパスの成り立ちを読み解



③ 古い学生ノート（明治 41 年）及び学徒出陣壮行会資料（昭和 18 年）の展示。

いてもらいました。詳細は「東工大クロニクル」(No. 532, July 2019) をご覧ください。

4. 「アジア学生技術会議」誕生秘話

1956 年〔昭和 31〕当時は、まだ日本と中国（中華人民共和国）の国交は途絶えたままでした。このような時に、学生主催のイベントに国交のない中国から学生をよぶという“とんでもない計画”を立て、翌年（1957）に実現した学生たちが本学にいたことが同窓生からの寄贈資料で明らかになりました。日中国交正常化（1972）の 15 年も前の話ですから、ニュースバリューは大です。そこで当時の関係者の方々（80 代後半）にインタビューさせていただいて、いきさつやイベントの様子を「資料館 っておきメモ帳 No. 15」にまとめました。資料館にはガリ版刷りの報告書とアルバムが保存されていますので是非ご覧ください。技術協力によるアジア諸国の繁栄を実現するための第一歩として、まずは日本各地の工場見学旅行と討論会を通して、アジアからの留学生に我が国の技術の現状を紹介すると共に、各国学生間の理解と親睦を深めることにしたのです（広島原爆記念館も訪れています）。当時のメンバーには、卒業後の社会人時代はもちろん、定年後もユニークな活動をしている人が多いのが印象的でした。

5. 不思議な人の縁

2020 年 3 月の「今月の一枚」で絵本作家の加古里子さんが本学で工学博士号を取得しておられることを紹介しました。加古さんの絵本作家デビューのきっかけを作ったのが福音館書店の松居直さん（後の社長、会長、現相談役）です。その松居さんの邸宅を設計し、建築家としてデビューしたのが本学建築学科の篠原一男助教授（当時）でした。さらに福音館書店がらみのネットワークは広がります：本学の卒業生の中には、黒田龍之助講師・助教授（当時、在職期間：1994～2003）にロシア語を習った人が多いと思います。黒田さんの母（ペンネーム：せなけいこ）は、絵本作家志望で息子のために自家製絵本を読み聞かせていました。それが福音館書店の本多慶子さん（松居直編集長の下で働いていた）の勧めで、デビュー作『にんじん』となったのだそうです。ゆるい繋がりですが、私たちの間では話が弾み、15:00 のお茶の時間が少し長くなってしまいました。

令和1年度（2019）に受け入れた特定歴史公文書等のリスト

法人文書ファイル名	作成又は取得者
平成20年度事務組織改革	総務部総務課総合企画グループ
大学憲章・アクションプラン等	総務部総務課総合企画グループ
事務長・補佐・専門員手続職制定数 61.4～5.3	庶務部人事課任用掛
事務長・補佐・専門員手続職制定数 5.4～12.3	庶務部人事課任用掛
事務長・補佐・専門員手続職制定数 12.4～15.3	庶務部人事課任用掛
平成10年度学校基本調査	総務部庶務課広報調査掛
平成20年度学校基本調査	総務部評価・広報課広報・社会連携グループ
平成21年度収入・支出概算要求に関する文書	東京工業大学財務部主計課予算グループ
震災関係（平成25年度）	学務部学生支援課支援企画グループ
震災ボランティア（平成25年度）	学務部学生支援課支援企画グループ
東日本大震災被災学生奨学金申請・採用関係（平成25年）	学務部学生支援課支援企画グループ
清華大学との合同プログラム平成20年度	国際部留学生交流課事業推進グループ
平成20年度赴日予備教育	国際部留学生交流課事業推進グループ
昭和63年度規則制定改廃	庶務部庶務課法規掛
昭和63年度工学部教授会	東京工業大学工学部庶務掛
工業教員養成所試験点数下調書綴 明治31年7月ヨリ	教務掛
試験成績表 明治35年度～明治37年度 & M41, 42, T11--15, S2--5, 10--17	教務掛
学年末試験成績表 明治39年ヨリ同41年マテ	教務掛
入学願書 大正元年9月 & T2, 3, 7, 13--15, S3, 4, 6, 7, 10, 11, 13, 15--22, 26, 27	博物館**
入学願書綴（臨工）昭和16年4月 & S17, 18	博物館
入学願書 附属工業専門部 昭和19年5月 & S20	博物館
附属予備部入学願書綴 昭和8年度 & S9--20, 22, 24, 26,	博物館
新制大学入学願書綴（二）力行 昭和24年度 & 他2冊	博物館
入学試験関係書類 大正13年 & T14, 15	博物館

法人文書ファイル名	作成又は取得者
入学関係書類 大正11年 & S3-5, 16, 17, 20--22	博物館
入学願書類綴 昭和17年10月 & S28	博物館
特別予科試験成績表 自明治41年9月至明治42年6月 & T3, 4, 6--10, 12--15,	博物館
選科研究生聴講生入学願書 自大正3年至大正5年 & S3	博物館
入学試験成績表 昭和4年3月 & S6, 7--10,	博物館
第一次入学試験成績表 大学部 昭和5年3月 & S17,	博物館
第二次入学試験成績表 大学部 昭和5年4月 & S15, 16, 17	博物館
第一次入学願書類綴 東京工業大学 昭和5年度	博物館
第二次入学願書類綴 東京工業大学 昭和5年4月	博物館
入学願書類綴 特設予科 昭和2年度 & S3--7	博物館
上記のほか「誓書」や「生徒進退二関スル書類綴」などを含め、合計355簿冊を受け入れた。	

**（博物館）：博物館に未整理のまま保存されていた古い資料



生物被害防止のために、ビニール袋に密封し、脱酸素剤処理中

④ 令和1（2019）年度に受け入れた「特定歴史公文書等」の外観。

公文書室 業務日誌（抄）

年	月	日	業務内容
平成 31 令和 1 (2019)	4	23	国学院大学特別研究員 来訪（傍系入学に関する調査）継続：計 28 回
		5	16 ～ 6 月 13 日◆ミニ展示「社会人教育のルーツをたどる」 31 法人文書ファイル管理簿等の作成についての説明会
	6	6	～ 7 日◆全国公文書館長会議
		11	～ 7 月 10 日◆各部局と保存期間満了法人文書の移管について協議
	7	17	向山光昭名誉教授の門下生来訪（資料寄贈の打合せ）
		26	工学院経営工学系 教員来訪（見学）
	8	15	～ 16 日◆大阪市立大学の大学院生来訪（古橋家文書の調査）継続：9/24 ～ 25, 2020/2/3
		26	～ 30 日◆渡辺事務支援員が国立公文書館アーカイブズ研修Ⅰを受講
		31	目黒区連携講座「東工大博物館のアーカイブズを覗いてみよう」を開催
	9	9	～ 13 日 & 10/7-11, 11/11-15◆酒井事務職員が国立公文書館アーカイブズ研修Ⅲの一部を受講
	10	2	元本学教員 水野俊彦氏の子息が研究室のあった場所等の調査に来訪。継続：10/10
		5	とっておきメモ帳 No. 14「東工大パタゴニア遠征隊 1968-69」発行
		28	～ 11 月 12 日◆ミニ展示「社会人教育のルーツをたどる」の新装再展示（10/30 感謝の集い用）
	11	28	遠山啓名誉教授の資料の寄贈に関し、友兼清治氏と最終打合せ
12	18	～ 19 日◆自然科学系アーカイブズ研究会に参加・事例報告	
令和 2 (2020)	1	6	国立科学博物館 理工学研究部 研究員（科学史）が原稿執筆のための調査に来訪
		17	岡本明氏（加藤科学振興会 理事・事務局長）がフェライト特許関係資料の寄贈の打合せに来訪
		23	畑敏雄名誉教授ご息女にインタビュー（明治大学平和教育登戸研究所資料館収蔵日記の抜粋複写など）
		27	とっておきメモ帳 No. 15「"アジア学生技術会議" 誕生秘話」発行
		31	博物館 資史料等審査部会 開催
	2	5	～ 3/19◆学習院大 アーカイブズ研究科の院生に手島精一関係資料の整理を依頼（計 12 回来室）
		27	富山大学アーカイブズ室員が見学と打合せのために来訪
	3	24	日本女子大学名誉教授来訪（手島精一資料の調査）
		25	とっておきメモ帳 No. 16「東工大が生んだデザイナー 芹沢銈介のカレンダーの世界」発行

寄贈資料一覧 & 資史料館からのお知らせ

◆ 下記資料を寄贈いただきました（2019 年 4 月から 2020 年 3 月受領分）。

寄贈者	資料名
河内宣之	化学系資料（ノート、名簿、分光器 etc.）
中村 聡	剣道部の記念誌，教育改革部会 報告書他
小林隆夫	楽水会名簿，電気・情報工学課程の案内， 精研要覧，法人化準備部会中間報告他
小林 修 <small>「向研会」代表</small>	向山光昭先生関係資料一式
友兼清治	遠山 啓名誉教授の遺品・主著
羽田康子	祖父（濱本芳友，M41 卒）のメモ帳
濱本牧子	祖父（濱本芳友，M41 卒）の日記 & CD
塚田憲三	野辺山の 45 m 電波望遠鏡関係資料
松田克子	石井茂助 & 細田一夫（娘婿，S14 紡織）資料

寄贈者	資料名
松尾英二	熊本工業高等学校の歴史（DVD）
米山 喜久治	東京工業大学社会工学部構想 1968.5.20
平賀 健文	卓球部誌（部誌第 2 号 2014 年 6 月）
井出まり子	畑敏雄名誉教授の原稿「早川 <small>康之</small> さんと私」
西原明法	故末武国広名誉教授の最終講義等の DVD
秋元 肇	FDC 部誌「ダブルサークル第 6 号復刻版」
前川 洋	創立 60 周年記念絵皿と絵葉書セット
吉田尚弘	名誉教授推薦調書・功績調書
林 義雄	WUS, ASCOT & 「とっておきメモ帳 15」資料

◆ 公文書室入口（本館 3 階奥）にパンフレット棚を設置し、「発掘！東工大の研究と社会貢献」，「資史料館 とって おきメモ帳」を配布しています。百年記念館 1 階と合わせてご利用下さい。「今月の一枚」も掲示しています。

東京工業大学公文書室だより 第 5 号 2020 年 3 月 31 日発行

編集・発行 東京工業大学博物館資史料館部門 公文書室

152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1, E3-12 TEL 03-5734-3347

E-mail centshiryou@jim.titech.ac.jp URL <http://www.cent.titech.ac.jp/indexArchives.html>